

[前画面へ戻る](#)

科目名	国際金融論
科目名(英訳)	International Finances
科目ナンバー	NA338F01
詳細情報	授業外学修時間: 週4時間
担当者 (非)は非常勤講師	高 英 求
単位数	2
開講学年	3年
開講セメスター	秋期毎週
対象学科 選択・必修	必修: 選択: NA
他学科受講	
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	学科専門科目の「国際政治経済科目」として配置されている。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ①:○ ②:◎
身につく基礎力 / 身につく汎用力	傾聴・受信力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 国際的な視野

授業の主旨 (概要)	国際金融に関する基礎的な用語・概念やアプローチを、ひととおり学ぶ。経済ニュースの理解度を高めることが、一つの目標である。国際金融の基礎的な理論についても学ぶ。専門的な本・論文を読んで考える土台をつくる。講義の最初の数回で、「金融論」の基礎について解説する。国際金融を理解する土台をつくるためである。金融の知識がほとんどなくても、初歩的なことからスタートするのでご安心を(貨幣の定義、銀行と証券会社、株と債券、など)。 基礎的な用語・概念について、日本語と英語の両方を学ぶ。ただし、英語が苦手でも大丈夫です。大学のディプロマポリシーにある、豊かな教養、国際的な視野を身につけることができる。国際関係学部ディプロマ・ポリシーとの関連でいうと、主に「①社会で必要とされる知識・技能」を習得する授業である。	
具体的 達成目標	国際金融に関する報道を理解できるようになる。 国際金融に関する理論や歴史についても、論文・専門書を理解する土台をつくる。 国際金融に関わる基礎的な英語の知識をつける。 国際金融だけでなく、「国内」の金融についても基礎的なことがらを理解できるようになる。	
	1	【内容】 金融とは何か？ 【授業外学習】 コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。
	2	【内容】 おカネとは何か？ —マネーの定義/分類 【授業外学習】 コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。
	3	【内容】 近現代におけるマネー —信用創造 【授業外学習】 コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。
	4	【内容】 現代の金融政策 —公開市場操作を中心に 【授業外学習】 コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。
	5	【内容】 国際金融市場 —歴史と現状 【授業外学習】 コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。
		【内容】 為替相場 —円高/円安を理解する

授業計画	6	【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。			
	7	【内容】	為替相場変動の要因 — 為替相場はなぜ変動するのか			
		【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。			
	8	【内容】	実質実効為替相場 — 通貨の実力を測る			
		【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。			
	9	【内容】	為替リスクのヘッジ			
		【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。			
	10	【内容】	為替相場決定理論			
		【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。			
	11	【内容】	国際収支(1) — 国際収支の概念			
		【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。			
	12	【内容】	国際収支(2) — 日本と諸外国の国際収支			
		【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。			
	13	【内容】	国際通貨体制(1) — 固定相場制と変動相場制			
		【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。			
14	【内容】	国際通貨体制(2) — 国際通貨体制史				
	【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。				
15	【内容】	講義の総復習 テストの実施および解説				
	【授業外学習】	コースパワー/講義時の資料で、予習・復習をする。また、講義内容をもとに、自分で問題をみつけて考察してみる。				
授業方法	配布資料にもとづいて授業を行う。 前回の授業に関して寄せられた質問や感想、問題に対する答えなどについては、以降の授業内容に盛り込むなどして学生へのフィードバックを行う。					
成績の評価方法	基本的にテストの点数で評価する(100%)。これに発言点等を加算する。					
成績の評価基準	00テストでは、基本的な事柄をマスターしているかどうかを主に問う。発展的な内容も授業に盛り込んでおり、理解度/到達度に応じて成績が上がる。					
教科書						
参考文献	No	書籍名	著者名	出版社	価格	ISBN/ISSN
	1.	『貨幣の制御』	高英求	文真堂	3,500円	978-4-8309-5074-2(4-8309-5074-9)
備考	A. ほとんどの授業時間で、積極的に英語(あるいはその他外国語)の利用を図る授業である。 (ただし、英語が苦手な人でも講義内容を理解できるようにする。むしろ、この講義を受けることで、英語力を高める、というように考えてほしい。)					
関連ホームページ						
メールアドレス	高 英 求 koh@fsc.chubu.ac.jp					
オフィスアワー						